

中国語版
中文版



彩の国の道徳

家庭用

読み物教材 小学校(高学年)・中学校・高等学校向け抜粋

埼玉県教育委員会



ほごしや みなさま
保護者の皆様へ

かていよう さい くに どうとく かてい がっこう おな してん た こども ゆた ころろ はぐく
家庭用「彩の国の道徳」は、家庭と学校が同じ視点に立ち、子供たちの豊かな心を育むため
さくせい
に作成しました。

こども きはんいしき ゆた ころろ はぐく かてい きょういく たいへんじゅうよう
子供たちの規範意識や豊かな心を育むためには家庭の教育が大変重要です。

ほんしょ よ ものきょうざい こ いっしょ よ どうじょうじんぶつ こうどう きも
本書の読み物教材を、お子さんと一緒に読み、登場人物の行動や気持ちについてどんなこと
かん じぶん にちじょう せいかつ しんけん い たいせつ はな あ
を感じたか、自分はどうか、日常生活や真剣に生きていくことの大切さなどを話し合ってみて
ください。

かていよう さい くに どうとく ひびこそだ かつよう さいわ
この家庭用「彩の国の道徳」を日々の子育てに活用していただければ幸いです。

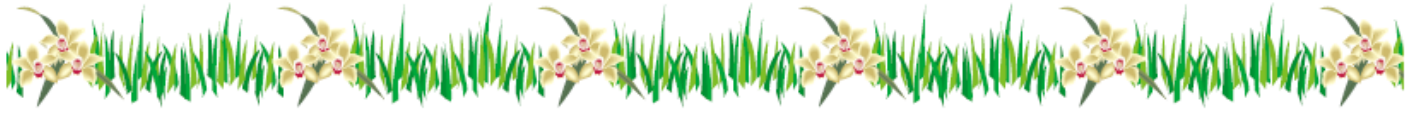
致诸位家长：

面向家庭的《彩之国道德》，是把家庭和学校放在同一视点，为培养孩子们丰富的道德情操而编成的。

培养孩子们的规范意识、丰富的情操，家庭教育是非常重要的。

把此书作为一本教材，和孩子们一起读一读，考虑一下书中人物的行动和心情，想一想如果是自己的话又会如何做，建议大家就“过好日常生活、认真面对人生等”这些话题和您的孩子讨论一下。

要是大家能把《彩之国道德》用在日常的育儿生活中，我们会感到非常的欣慰。



かていよう さい くに どうとく
家庭用「彩の国の道徳」

もくじ
目次

しょうがっこう こうがくねん ちゅうがっこう こうとうがっこう む ぼっすい
🌻 小学校 (高学年) ・ 中学校 ・ 高等学校 向け 抜粋 🌻

ありがとう 1

なに
わたして何 5

ゆた にほん きんだいにほんしほんしゅぎ ちち しぶさわえいいち
豊かな日本をめざして— 近代日本資本主義の父・渋沢栄一 —... 9

いのち いまい
命、今生きていること 15





家庭版《彩之国道德》

目录

🌻 面向小学（高年级）、初中、高中的精选文章 🌻

谢谢	2
我是什么	6
为了建设一个繁荣昌盛的日本 ——近代日本资本主义之父 涉泽荣一——	10
生命, 意味着现在活着	16



ありがとう

① 由美は、小学校六年生だ。冬休みに入ってすぐのこと、「由美、この書類をおばあちゃん
の所に持って行ってほしいんだけど、お願いね。お母さん、今日は仕事で行けないんだけど
由美一人で、もう大丈夫だよ。」と、お母さんからおつかいをたのまれた。

② 由美は、一人でバスに乗って行くのは少し不安だったが、「うん、大丈夫だよ。」とお母
さんに返事をした。

③ おばあちゃんの家は隣の市で、バスで三十分ほどのところにある。由美の家は、町外れ
にあるので、折り返しのバス停まで、お母さんが車で送ってくれた。

④ バス停には、8時25分発のバスがもう来ていた。中に入ると、何人かもう乗っていた。
出発時刻になり、バスが動き出した。由美は、さいふの中味を見て、細かいお金が不足して
いることに気づいた。席を立ち、両替機を使おうとした時、「危ないよ。バスが動いている
時は、両替機を使わないようにして。」と、運転手さんから、きつく注意された。

⑤ 由美は、他のお客さんにも見られ顔を赤くして席にもどった。

⑥ 次のバス停で、高校生の男の人たちが数人バスに乗ってきた。それぞれ携帯電話を持って
いて、何か操作していた。その中の一人に電話がかかって来たのか、呼び出しの音楽がバス
の中に鳴りひびいた。バスの運転手さんが、マイクを使い、「バスの中では、携帯電話の
使用はご遠慮ください。」と呼びかけた。

⑦ 高校生たちは、運転手さんの方を向いて何かぶつぶつ言いながら携帯電話をしまった。

⑧ 由美は、無事に、おばあちゃんの家に着いた。



谢谢

- ① 由美是一个小学六年级的学生。寒假开始后的一天,妈妈说:“由美,要把这份材料送到奶奶这儿,就拜托你了。妈妈今天有工作不能去,由美一个人可以的吧!”妈妈给由美布置了工作。
- ② 虽然,由美对一个人坐公共汽车去有点不安,但还是对妈妈说了“嗯,没关系。”
- ③ 奶奶的家在隔壁的市,坐公共汽车去大约要30分钟左右。因为由美家住在远离市中心的郊区,所以妈妈把她送到了公共汽车站。
- ④ 在公共汽车站,8点25分出发车的公共汽车已经停在那里。上了公共汽车,发现已经有几个人在车中了。到了时间,公共汽车驶出了站台。由美看了自己的钱包,发现里面的零钱不够。就在由美站起,打算使用货币兑换机换钱时,就听到了司机很严厉的说:“危险,汽车在行驶中,不要使用货币兑换机。”
- ⑤ 由美在别的乘客的注视下,红着脸回到了自己的座位。
- ⑥ 在下一站,有几个高中生模样的男生上了车。他们都拿着手机,都在操作使用着什么。其中一个男生的电话似乎是有来电,公交车上充满了电话来电音乐声。这时,司机使用麦克风告诉大家:“在公交车中,请尽量不要使用手机。”
- ⑦ 高中生们朝着司机坐的方向嘀嘀咕咕的说着什么,然后收起了手机。
- ⑧ 由美呢,也顺利的到了奶奶家。

⑨ 「由美、えらかったね。一人でバスに乗って来たんだ。今日は一日うちで遊んでいくと
いいよ。」と、おばあちゃんが言ってくれた。

おばあちゃんの家には、同じ年のいともいるので、楽しく一日を過ごした。夕方になった
ので、家に帰ることにした。家に電話をすると、仕事から帰ってきた母が出て言った。

「由美、おつかいありがとう。帰りのバスが着く時刻に合わせてバス停まで迎えに行くから
ね。」

⑩ 帰りは、おばあちゃんがバス停まで送ってくれた。バスが近づいてきて、運転手さんを見
ると朝のバスと同じ人だった。終点のバス停に着くと、窓から母の車を探した。乗ってい
たお客さんはみんな降りてしまい、一人だけになってしまった。

⑪ 運転手さんに、「どうしたんだい。」と聞かれたので、また何か言われるかと思っ
てどきどきしたが、私は正直に、「迎えに来てくれるはずの母がまだ来てないのです。」と
言った。

⑫ お金をはらってバスを降りようすると、運転手さんが、「お母さんが来るまでバスの中
で待つといい。外は寒いから。」と言った。

⑬ いいのかなと思いながらも、バスの中で待たせてもらうことにした。

⑭ 母の車がやっと来た。「母が来ました。ありがとうございます。」と、お礼を言ってバスを
降りました。

「お母さん、時間は分かっているのにどうして待っていてくれなかったの？」

由美はちょっときつく言った。

「ごめんね。出かけるときにお客さんが来て遅くなってしまったの。」

⑮ そんな会話を母としながら、バスを見ると、普段は、行き先を示す正面の表示板が、
「貸切」となっていた。思わず母と顔を見合わせた。

⑯ バスは、表示板を「回送」にかえて車庫へ向かって動き出した。



彩の国の道徳「夢にむかって」より

- ⑨ “由美,你真了不起,一个人坐公交车就来了。今天一天就在这儿玩吧”。奶奶这样说着。
- 在奶奶家,因为有一个同龄的表妹,所以由美的这一天过的很愉快。到了傍晚,由美打算回家,往家打电话时,已经下班的妈妈来接电话。妈妈说:由美,谢谢你。我会按照公交车到站的时间去接你。”
- ⑩ 回家时,奶奶送我到公共汽车站。公交车驶近时,我看见驾驶员和早上的是同一人。到达总终点站,我从窗户寻找妈妈的车子。车中的乘客陆陆续续都下车了,就剩下我一人。
- ⑪ 我听到司机问我“怎么了,”我觉得可能又会被他说什么,所以有点害怕,我就实事求是的告诉他“要来接我的妈妈,到现在还没到。”
- ⑫ 就在我付了钱打算下车时,就听见司机说:“等妈妈来了再下车吧,外面很冷。”
- ⑬ 虽然犹豫是否要呆在车中,最后我还是呆在公交车中等候妈妈。
- ⑭ 妈妈的车总算到了。“妈妈来了,谢谢你。”我说了感谢的话就下了车。
“妈妈,知道时间,为什么还让我等啊”由美非常生气的说着。
“对不起,就在我要出门时,刚好有朋友来,所以来迟了。”
- ⑮ 就这样,边和妈妈说话边下了车,回头看公交车时,平时在车前写着目的地的显示屏此时显示的却是“包车”,我和妈妈不约而同的相互对视一看。
- ⑯ 这时公交车的显示屏变成了“回送”向着车库方向驶去。

なに わたして何

- ① 幸恵のクラスでは、最近人気のテレビタレントの話題がよくでる。
「昨日の番組に出ていた芸人さん、おもしろいね。」
「『おまえは、この世から去れ！』っていうギャグ、最高だよね。」
- ② たわいのない話ばかりだったが、友達と共通の話題で盛り上がるのが、楽しくて仕方がなかった。
- ③ お母さんは、少し心配しているようだった。
「まさか、友達を傷つけるようなことを言っていないわよね。」
「大丈夫よ。心配しないで。友達の悪口や人をけなしたりするようなことは言わないから。」
- ④ 幸恵はきっぱりとお母さんにそう言った。余計な心配で楽しみをうばってほしくなかったからだ。
- ⑤ ある日のこと、幸恵が教室そうじをしていると、小さな封筒が落ちていた。「秘密」という文字が書かれていた。幸恵は、拾い上げた。読むのは悪いと思ったが、「秘密」の文字がどうしても気になった。そこで家に帰ったあと、自分の部屋でこっそり読んでみた。
- ⑥ 小さな紙切れに走り書きの文字がならんでいた。
「幸恵って、このごろ生意気だと思わない？ 気に入らないな。
本当に『この世から去れ！』って感じ。（笑）」
- ⑦ 幸恵はまさか自分のことが書かれているとは思わなかったもので、一瞬目をうたがった。しかし、何度読み返しても、書いてあるのは自分のことだった。今まで何気なく使っていた「この世から去れ」という言葉が心に鋭くつきささった。胸が苦しくなり、涙がこみあげてきた。
- ⑧ 「わたして何…。わたしは友達から嫌われているの。わたして、この世からいなくなればいいと思われているの。」



我是什么？

- ① 最近在幸惠的班级,那些非常有人气的电视明星会经常成为大家谈论的话题。
“昨天的节目中出演的那个艺人,非常有趣”
“你,快从这个世界消失!”这句玩笑话,最有意思。
- ② 虽然都是些没有什么意义的话,但是能和朋友找到一个共同的话题并说的兴高采烈,那种快乐是抑制不住的。
- ③ 妈妈似乎有些担心。
“你们这些话不会伤到别的同学吧。”
“没关系,不用担心。我们不会说朋友的坏话和伤害同学的话。”
- ④ 幸惠毫不犹豫的回答了妈妈。因为她不想让过分的担心夺取她的快乐。
- ⑤ 有一天,幸惠在打扫教室时,看见有一个小信封落在地上。上面写着“秘密”这两个字。幸惠捡起来,觉得打开看有点不好,但是还是对“秘密”这两个字感到非常好奇。所以就想回家后,躲在自己的房间偷偷的看。
- ⑥ 在小纸片上写着一些潦草的文字:“幸惠最近是不是有点脸皮太厚?不太喜欢她。感觉她倒是应该“从这个世界消失。(笑)”
- ⑦ 因为幸惠绝对没有想到是在写自己,所以一瞬间她都有点怀疑自己的眼睛了。但是,反复看了几次,写的真是自己。至今为止自己不以为然的经常说的——“从这个世界消失”这句话,非常尖锐的刺向了自己的心脏,感觉到心疼不已,眼泪不由自主的夺眶而出。
- ⑧ “我是怎样的人……,我被同学讨厌、我被认为该从这个世界消失。”

- ⑨ さちえ なに かあ かお み ひとり へや
幸恵は、何をするのもいやになった。お母さんの顔を見るのもつらくなり、一人で部屋にこもっていた。
- ⑩ なん そんざいほんとう よ
「わたしって何なのだろう。みんなからいやがられている存在なのだろうか。本当にこの世からいなくなった方がいいのかな…。」
- ⑪ さちえ よ さ ことば あたま はな なみだ
幸恵は『この世から去れ』の言葉が頭から離れず、涙があとからあとからこぼれてきた。
- ⑫ じかん す まど そと くら まど かざ
どのくらいの時間が過ぎたのか、窓の外はだいぶ暗くなっていた。ふと窓ぎわに飾ってある写真が目に入った。幸恵が生まれたばかりにとった写真だ。家族の真ん中で小さな自分が楽しそうにはしゃいでいる。お父さんもお母さんもうれしそうな顔で写っていた。幸恵は、その写真をしばらく見つめていた。
- ⑬ さちえ ゆうしょく じかん かあ へや こえ こえ き
「幸恵、夕食の時間よ。」お母さんが部屋をのぞきこんで声をかけた。その声を聞いて、幸恵は思いつめてカチカチに固まっていた心が少しほどけるような気がした。
- ⑭ かあ おも ことば さちえ くち で
「お母さん、わたしがいてよかった？」 思いもよらない言葉が幸恵の口から出てきた。
かあ いっしゅんおどろ かお えがお い
お母さんは、一瞬驚いたような顔をしたが、すぐに笑顔にもどって言った。
さちえ よ なか かんが さちえ かぞく たからもの
「そうね…。幸恵のいない世の中なんて考えられないわ。幸恵は、家族の宝物よ。」
たからもの
「わたしは、宝物…。」
- ⑮ さちえ くら じぶん へや で しょくたく
幸恵は暗い自分の部屋から出た。食卓はおいしそうなおいでいっぱいだった。

彩の国の道徳「夢にむかって」より

- ⑨ 幸惠觉得自己现在是万念俱灰,就是看妈妈的脸,也觉得很难受,所以就一个人一直关在自己的房间。
- ⑩ “我到底是怎样一个人啊!我是被大家所讨厌的人吗?真的是应该从这个世界中消失吗?”
- ⑪ 幸惠的脑中,一刻都离不开“从这个世界消失”的这句话,眼泪也是不断的涌出。
- ⑫ 也不知过了有多长时间,窗外渐渐的变暗了。猛然一抬头看见了放在窗旁的一张照片。那是幸惠出生不久时拍的。照片中央的那个小小的自己在家人中间非常快乐开心,照片中的爸爸妈妈也是显得非常的高兴。幸惠盯着照片看了好一会儿。
- ⑬ “幸惠,吃晚饭了啊。”妈妈悄悄的看了一下房间对着我说。听到那个声音,幸惠那颗被胡思乱想包裹的紧紧的心似乎有些松动了。
- ⑭ “妈妈,有我在你们高兴吗?”想都没有想过的问题从幸惠的口中脱口而出,妈妈的脸一时显得有些惊讶,但是立刻,妈妈就恢复了笑脸,说道:“是这样的……没有幸惠的世界是无法想象的。幸惠是家里的宝贝啊!”
“我是宝贝!”
- ⑮ 幸惠走出了自己黑暗的房间。此时的餐桌,散发出阵阵食物的香味。



ゆた にほん

豊かな日本をめざして

きんだいにほんしほんしゅぎ ちち しぶさわえいいち

— 近代日本資本主義の父・渋沢栄一 —

① にほん せかい なか ゆた くに い たし ぶっしつてき ゆた ほかに くに
 ① 日本は世界の中でも豊かな国と言われています。確かに物質的な豊かさでは他の国よりも
 ゆた せいかつ べんり
 豊かです。生活も便利になりました。

② かね かんけい じけん たはつ まんび ごうとう さぎ じけん
 ② しかし、お金に関係した事件が多発しています。万引き、ひったくり、強盗詐欺事件など
 れんじつ ほうどう おおて かいしゃ さんち しょうみきげん ぎそう しょうひしゃ
 連日のように報道されています。大手の会社が、産地や賞味期限を偽装して消費者を
 じけん しゃかい ひろ かんたん こじんじょうほう なが みし ひと
 だましたとされる事件、ネット社会が広がり、簡単に個人情報情報が流され、見知らぬ人からの
 ゆうわく ふ こ さぎ じけん ま こ あと た
 誘惑や、振り込め詐欺などの事件に巻き込まれるケースも後を絶ちません。

③ はんざいしゃ なか ほう わる い てぐち はんざい て そ
 ③ 犯罪者の中には、（だまされる方が悪い。）と言わんばかりの手口で、犯罪に手を染める
 おとな ふつう かんかく はなし おも
 大人もいます。普通の感覚から「そんなうまい話があるはずがない。」と思うのですが、
 てぐち こうみょう かんたん くちぐるま ま あくじ かたぼう かつ
 手口が巧妙なために簡単に口車にのってしまい、いつの間にか悪事の片棒を担いでいる
 わかももの き
 若者もいると聞きます。

④ わたし いま にほん げんじょう かんが せいかつ
 ④ 私たちは、このような今の日本の現状をどのように考え、生活していけばよいの
 でしょうか？

⑤ さいたまけん ふ か や し しゅっしん じつぎょうか きんだいにほんしほんしゅぎ ちち しぶさわえいいち
 ⑤ 埼玉県には、深谷市出身の実業家で、「近代日本資本主義の父」といわれる渋沢栄一が
 かれ う ねん ほうけんしゃかい お ちか じせつ
 いました。彼が生まれた1840年は、まさに封建社会も終わりに近づいた時節でありまし
 とうじ しのうこうしょう かいきゅうせいど な た じだい えいいち のう か
 たが、当時はまだ士農工商といった階級制度で成り立っていた時代でした。栄一は農家で
 う そだ かいきゅうせいど ぎもん かん とく かね とりひき
 生まれ育ちましたが、この階級制度に疑問を感じていました。特に、お金を取引したりする
 しょうにん ちい ひく かね しょうこうぎょう せかい み お くに と
 商人の地位は低いものでした。彼は、やがて商工業の世界に身を置き、国を富まし、
 かんそんみんび しりぞ しょうこうぎょうしゃ ちい こうじょう
 官尊民卑*を退け、商工業者の地位を向上させていくのです。

⑥ しぶさわえいいち わか ころ ばくしん ばんこくはく ずいこう すす ぶんか かんめい
 ⑥ 渋沢栄一は若い頃、幕臣としてパリ万国博に随行李、進んだヨーロッパ文化に感銘を
 う ねん おおくらしょう にゅうしょう ねん や
 受けたそうです。1869年に大蔵省に入省しましたが4年で辞めてしまいました。
 ぎんこう ほっそく えいいち みんかん じぎょう さか どりよく しょうねんじだい あいどく
 銀行を発足させた栄一は、民間の事業を盛んにしようと努力しました。少年時代から愛読
 ろんご みち しょうばい はじ しゃかい ほんとう ひつよう じぎょう
 していた『論語』を道しるべに商売を始めたのです。（社会に本当に必要な事業を
 ごうりてき りえき しょみん ゆた くに
 おこして、みんなで、合理的に利益があがるようにしよう。庶民が豊かになることが、国を
 ゆた かくしん
 豊かにすることになるのだ。）と確信していました。

- ① 日本在全世界被大家认为是一个非常富裕的国家。在物质方面确实是比别的国家丰富，而且生活也是非常方便。
- ② 但是，最近经常有围绕金钱的事件多发。在店内行窃、抢劫、强盗、诈骗事件等每天都有这样的报道出现。知名公司篡改产地、改换品尝期限等欺骗消费者的事件、网络世界的不断发展，让个人信息非常容易的就被流出、被不认识人诱惑，深陷转账诈骗等这些事件也是不断发生。
- ③ 在犯罪者中，也有用（被欺骗的人也不好）强词夺理的手法，进行犯罪的成年人。要是以一般人的感觉，会觉得怎么会有这样的好事呢，但是，就是有些年轻人就因为这些犯罪者弹舌如簧的巧妙说法，不知不觉的就上了他们的贼船，成了他们的帮手。
- ④ 我们大家对于像日本现在这样的现状是如何思考的，继续在这样的状况下生活吗？
- ⑤ 在埼玉县，有一位出生于深谷市的企业家，他就是被称为“日本现代资本主义之父”的涩泽荣一。他出生的1840年，正是封建主义社会接近尾声的时期，当时日本还是一个士农工商阶层严格的社会。荣一是生于农家长于农家，对这个阶层制度抱有疑问。特别是从事金钱交易的商人的地位特别低。他决定进入工商业界，强国富民，废除官尊民卑，努力提高商工业者的地位。
- ⑥ 涩泽荣一在年轻时，作为幕府大臣随团去巴黎参加了世界博览会，对先进的欧洲文化感触很深。他在1869年进入大藏省，仅仅工作了四年就辞职了。创立了银行的荣一，为民间企业蓬勃发展做出了巨大的努力。他以自己从小就非常喜欢阅读的〈论语〉为自己的路标，开始了他的从商之路。他确信——开创社会所需要的产业，大家齐心协力合理的提高利润。只有民富才能国富。

⑦ とは言っても、「金儲けには手段を選ばない」というのもよくないことだ。だから、その中間にもものごとの真理があると栄一は考えました。
「論語と算盤の間をめざす。」

⑧ (度量や品性に欠ける人は儲けることだけに走ってしまいがちである。商工業者はお金を扱う仕事だからその危険は大きい。商工業者にとっては、誠の心こそ必要なものであり、信用を得ることが大切なのだ。そう考えてみると、「論語と算盤」は対立するものではなく、むしろ両立させなければならないものなのだろう。)

⑨ この考え方を栄一は、「道德経済合一説」とよんで、生涯、自分の説を曲げませんでした。

⑩ 栄一は、第一国立銀行の総監役を務めながら、事業を次々に実現させていきます。まず、取り組んだのが製紙会社でした。栄一は、(日本はヨーロッパやアメリカの文明を輸入しなければならぬ。そこで第一に考えられるのが文運だ。文運が進歩しなければ、一般社会の知識も発達しない。製紙が発達すれば、すべての事業も栄えるだろう。)と、考えました。製紙事業の途中から、ガス事業にとりかかった栄一は、これを成功させると、次の目標を人造肥料にしぼりました。農村出身の栄一でしたから、肥料のことはいつも気にしていました。

⑪ 売り上げが上向いた明治三十一年五月三日、新工場が火事で焼けました。工場建設で莫大なお金をかけ、売り上げも伸びないので採算が合わない、八方ふさがりの中で解散の声もあがりました。

⑫ (国家のために、今、これを止めてはいけない……。)
栄一は頑張り通しました。そして、第一国立銀行からお金を融通して難局を切り抜けることができました。

⑬ 明治の初期、どんな事業も新政府の協力なくしては創設できません。事業のリスクがあまりにも大きすぎたからです。第一国立銀行は、新政府の後押しがあったからこそ発足できたのです。財を蓄えるという気持ちがなく、人々の面倒見がいいという栄一の評判が、新政府の首脳の信頼を勝ち取った結果でした。

⑦ 话是这样说,但是”赚钱不择手段”也是不可行的。所以荣一认为,真理就存在于两者之间。

“以论语和算盘的中间为目标”

⑧ (没有度量缺乏品性之人,他们只会考虑赚钱工。工商业者从事的工作涉及到金钱交易,所以比较危险。对于工商业者来说,诚信是最必须的,取得别人的信任才是最关键的。从这个角度考虑,<论语和算盘>也就不是对立的,而是相互相承的。)

⑨ 荣一把这种思想称为<道德经济统一学说>,他一生都没有违背过自己的这个论说。

⑩ 荣一在担任第一国立银行的总裁的同时,还发展了许多项目。首先,他最先设立的是造纸公司。荣一认为:日本不得不从欧洲或美国引进文明,所以首先考虑的是*文运。文化运动不能取得进展,一般的社会知识也不会得到发展。如果造纸业发达,那么所有的产业都能得到繁荣发展。在发展造纸业的途中,又开始着手发展天然气项目,得到成功后,又致力于生产人造肥料。农村出身的荣一,对肥料的事业一直非常关心。

⑪ 在营业额上升时期的1888年5月3日,新的工厂被火烧毁了。在建设工厂时投资了巨大的资金,而且营业额也没有增加,可以说是无利可图。在这样四面楚歌的情况下,解散工厂的声音也越来越高。

⑫ 为了国家,现在一定要阻止这种做法。

荣一尽力阻止了这些声音。之后,从第一国立银行融资,渡过了困难的局面。

⑬ 在明治初期,任何企业如果没有新政府的帮助是无法创立的。那是因为当时创业的风险实在是太大。第一国立银行正是因为得到了政府的后援才得以创立。荣一正是以他没有蓄财的意图,非常乐意助人的声誉,赢得了新政府首脑的信赖。

⑭ しぶさわえいいち まさ こんにち ゆた にほん きず だいいちにんしゃ にほんほんとう ゆた しゃかい
渋沢栄一。正に今日の豊かな日本を築いた第一人者です。日本を本当の豊かな社会にする
しあわ いちばん かんが ひと
ために、「みんなの幸せ」を一番に考えた人でした。

彩の国の道徳「自分をみつめて」より

かんそんみんび せいふ かんり とうと じんみん
*官尊民卑…政府・官吏を尊んで人民をいやしむこと

ぶんうん ぶんか ぶんめい はってん きうん がくもん げいじゆつ さか おこな
*文運…文化、文明が発展しようとする機運。学問、芸術が盛んに行われるさま。

行ってみよう、調べてみよう!

「渋沢栄一記念館」



深谷市下手計 1 2 0 4



0 4 8 (5 8 7) 1 1 0 0


⑭ 涩泽荣一,他正是建立今天繁荣日本的第一人,是为了让日本成为一个正真昌盛的社会,把“大家的幸福放在首位的人。”。

*官尊民卑：是指当官的地位高,人民地位低。


*文运：是指文化,文明发展的机会。积极展开学术艺术等活动等。

让我们去调查研究一下吧!


〈涩泽荣一纪念馆〉



深谷市下手計 1 2 0 4



0 4 8 (5 8 7) 1 1 0 0



いのち いまい

命、今生きていること

- ① 本当の幸せというものは、実は、自分の一番身近なところにある、ということ、
東日本大震災を通して知りました。それは、あたりまえだけど、お金では買えないもの、
「生きている」ということです。
- ② ぼくは、4月から埼玉県さいたまけんの中学校ちゅうがっこうに転校してきました。それまでは、福島県ふくしまけんの浪江町なみえまちと
いうところで、ごく普通の小学生しょうがくせいとして、毎日を送っていました。そう、あの日までは…。
- ③ 3月11日、あの大地震おおじしんは起きました。そのとき、ぼくは帰りの会かいをしているところ
でした。机つくえの下にかくれました。ものすごいゆれでした。震度6強しんど きょうなどという地震じしんは
初めてで、そのあと、津波警報つなみけいほうが発令はつれいされました。
- ④ ぼくたちは、下級生かきゅうせいを連れて、近くの小高い山ちか こだか やま ひなんまで避難うししました。後ろをふりむくと、
遠くの方に大きな波なみが見えてきました。それは、黒い壁くろ かべのようで、一体何が起きているの
かもわからず、恐怖きょうふだけが自分を支配じぶん しはいしていきました。ぼくたちは、ひたすら山の中やま なかを
歩き、通りかかったトラックある とおに乗せられて避難所ひなんじょまで行きました。
- ⑤ ぼくの住んでいた町す まちは、津波つなみにのまれ、大切な家たいせつ いえ、大切な家族たいせつ かぞく、大切な愛犬たいせつ あいけん・・・みんな
一瞬いっしゆんに消えてしまいました。そして、ぼくのおばあちゃんおばあちゃんは、二度と帰かえってきません
でした。おばあちゃんとの思い出おもいでは、数え切れないほどあります。
- ⑥ ぼくのおばあちゃんおばあちゃんは、年としをとっていたけれど、ぼくに負けなまくらい元気げんきでした。
毎朝まいあさ、ぼくが学校がっこうに行くのを見守みまもっていてくれていて、毎日まいにち、畑はたけで野菜やさいを育てていました。
ぼくが学校がっこうから帰かえってくると、おいしいご飯はんを作つくって待まっていてくれました。ぼくは、
帰かえってくると、すぐにご飯はんにして、その日ひにあったことはなを話たのしながら、楽しく晩ご飯ばん はんを
食たべていました。ぼくは、野球やきゅうをやっていました。試合しあいのときときは応援おうえんしに来てくれて
いました。時には、けんかときもしたけれど、ぼくにとって大切たいせつなおばあちゃんおばあちゃんでした。
- ⑦ 人の命ひと いのちって何なんなのでしょう。ぼくは、「おばあちゃんの死し」という、本当ほんとうに辛いつら
体験たいけんから、そのことことを真剣しんけんに考かんがえさせられました。「人の命ひと いのちの重おもさは、何物なにものにも代かえられ
ない」という言葉ことばを聞いたきことがあります。まさにそのとおりです。

生命,就是现在还活着

- ① 通过东日本大地震,我明白了一个道理,那就是正真的幸福其实就在自己的身边。那就是似乎是理所当然的,却是我们用金钱买不到的——生命。

- ② 我从4月开始,转学到了埼玉县的初中上学。在这之前我一直在福岛县的一个叫浪江町的地方,作为一个普通的小学生过着普普通通的日子。对,就是在那天到来之前.....

- ③ 3月11日,发生了那个大地震。那时,我正在参加回家的班会。我们躲在书桌的下面。摇晃的非常厉害。强度6级的地震是第一次经历,之后又立刻响起了海啸的警报。

- ④ 我们带着低年级同学,到了一个小高山的上面避难。回头可以看见远方的大浪。那些海浪就像一堵黑色的墙,虽然我们不知道到底发生了什么,但是全身都被恐怖所支配。我们只是拼命的走在山道中,最后,一辆路过的大卡车把我们送到了避难所。

- ⑤ 我住的那个小镇被海啸倾吞,我的家、我最爱的家人、我非常疼爱的狗……,所有的一切都消失在一瞬间。还有,我的祖母,再也回不到这个世界了。和祖母在一起的回忆是数也数不清!

- ⑥ 我的祖母,虽然年纪已经很大了,但是她非常精神,一点也不比我差。每天她看着我去上学之后,再去地里种蔬菜。我放学回家时,祖母已经做好了香喷喷的饭菜。我回家之后,我们就开始吃饭,边吃饭边说说今天一天发生的各种事,大家就在这种温馨的环境中吃晚饭。我平时练习棒球。在比赛时,祖母会来观看并给我加油鼓劲。虽然有时我们也会发生争吵,但是祖母对于我来说是不可缺少的存在。

- ⑦ 人的生命到底是什么呢?“祖母的死”这个惨痛的经历,让我认真的考虑了这个问题。我们都听说过“宝贵的生命是什么东西都代替不了的”那句话真的是真理。

⑧ 毎日元気に学校へ行き、友達と笑ったりけんかしたり…。勉強がめんどうくさいことも
あるけれど、一生懸命机に向かったり…。家族と食事をしながら学校のことを話
したり…。そんなあたりまえのことが、ある日突然消えてなくなってしまったのです。
津波はすべてをうばいました。数え切れない人の命も…。一人一人の人に、これからの人生
があったのです。夢や将来もあったのです。あたりまえで平凡な毎日も…あったはずです。

⑨ 今、被災地はまだまだ大変な状況にあります。家族がまだ行方不明の人もいます。電気
などが復旧していない所もあります。学校で勉強できない人たちもいます。ぼくは、
勉強なんかしたくない、などという言葉を知ると、腹が立ちます。みなさんは、いつも
一緒に勉強している友達が、ある日、突然津波にさらわれて消えてしまう現実を想像する
ことができますか。毎日、あたりまえのようにみんなで勉強したり、部活をしたりしている
ことが、どれほど幸せなことか…。

⑩ ぼくのおばあちゃんは、もう二度と帰ってきません。どんなに
辛くてもどんなに願っても帰っては来ないのです。おばあちゃん
は、自分の命と引きかえに、ぼくに大切なことを教えてくれたの
かもしれません。

⑪ ぼくは、将来、野球の選手になりたいです。初めは不安だらけ
の中学校生活でしたが、友達ができ、部活動も頑張っています。
おばあちゃんの方も、生きることを奪われてしまった友達の分も
生きていきます。何があっても負けずに、友達を大切にして、
一日一日を本当に悔いのないように生きていきます。

⑫ 天国のおばあちゃん、これからもぼくを見守ってね。

(生徒の作文より)



彩の国の道徳「心の絆」より

⑧ 每天精神抖擞的去上学,和同学们说说笑笑、吵架……,学习虽然很麻烦,但是还是坐在书桌前努力学习……,和家人边吃饭边说说学校的趣事等等……。就是这些似乎看起来是理所当然的事,有一天却突然全部消失了,全部被海啸夺走了。数不清的生命也被夺走……。所有的人都他们都应该有他们的人生、有自己的梦想和未来。这些都应该有的理所当然的平凡的每一天……。

⑨ 现在,受灾地区的灾后状况还是非常的严重。也还有家人行踪不明的家庭。有的地方供电至今也没有恢复,也还有不能在学校上学的人。我现在如果听到“不想学习”这样的话,会非常生气。大家能想到每天在一起学习的同学,突然有一天被海啸袭击就突然消失的现实吗?每天,能理所当然的和大家一起学习,参加课外活动,那是一件多么幸福的事!

⑩ 我的祖母,再也回不来了。无论我怎样的难受,怎样的期待,都不会回来了。祖母可能是用自己的生命告诉我一个人最宝贵的是什么。

⑪ 将来我想成为一名棒球运动员。最初充满不安的初中生活,现在也有了新的朋友,并积极参加课外活动。我要为了祖母及其他被夺取生命的朋友而努力活着。以后不管发生什么我都不会气馁,珍视朋友的友情,一天一天努力生活不让人生有悔。

⑫ 在天堂的祖母,以后也请你继续默默的守护着我!

(本文选自学生的作文)

